

一宮市立市民病院心臓血管外科に通院中または過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ

心臓血管外科における臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「冠動脈バイパス術後のグラフト開存率に関する研究」を実施しております。
このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	冠動脈バイパス術後のグラフト開存率に関する研究
所属（診療科）	心臓血管外科
研究責任者（職名）	齋藤 俊英
研究実施期間	委員会承認日 ～ 2025年3月31日
研究の意義・目的	冠動脈疾患に対する冠動脈バイパス手術は広く行われている術式であるが、その方法は施設によって様々である。これは当院での冠動脈バイパス術後のグラフト開存率を含む成績を明らかにするために立案された後方視的研究である。
対象となる患者さん	2010年以降に一宮市立市民病院で冠動脈バイパス手術を施行された患者さん。
利用するカルテ情報	NCD（National Clinical Database）に登録済みのデータおよび定期受診の際に記録された診療データを用いる。
調査項目	グラフト開存率と術後生存率に主とし、その他術前・術中・術後データを対象とする。
研究方法	入院時および定期受診の際に記録された診療データを用いた後方視的観察研究。
問い合わせ先	窓口：一宮市立市民病院 心臓血管外科 電話番号：0586-71-1911

通常の経過観察として必要な造影 CT 検査を主とした診療情報を集計・検討します。カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報情報を削除します。研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表・論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
この研究にご自身の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合や、ご不明な点がある場合には、上記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。